

内部評価項目（令和5年度）

- 基本目標 確かな学力をはぐくみ、自ら課題を見つけ主体的によりよく
解決できる力の育成をめざします
- 基本目標 豊かな心をはぐくみ、健やかな身体と体力の増進に努める
たくましい人づくりをめざします
- 基本目標 安心・安全で、魅力ある教育環境づくりをめざします
- 基本目標 学校・家庭・地域が連携・協力し、社会全体で教育力の向上
をめざします

【評価基準】 A:十分なされている B:概ねなされている C:あまりなされていない D:なされていない

基本 目標	項 目	評 価 内 容	令和5年度1学期(%)				令和4年度1学期(%)				34年度1学期との比較	
			A	B	C	D	A	B	C	D	A評価	C評価
3	(1)組織的な 学校運営	1 校内研修会やOJTが計画的に実施されているか。	79%	21%			67%	33%	0%	0%	◎	
		2 自分の校務分掌について、計画・実施・反省を行い次回につなげたか。	50%	50%			25%	75%	0%	0%	◎	
		3 校務の効率化が図られているか。	29%	71%			42%	42%	17%	0%	▲	C改善
		4 保育所・小学校・中学校・高校等の連携がうまく図られているか。	14%	71%	14%		17%	83%	0%	0%		▲
1・2	(2)学習指導の 充実	5 ロードマップに沿った学力向上対策が実施できたか。	46%	54%			42%	58%	0%	0%		
		6 ゴールの姿をイメージして、授業できたか。	54%	46%			33%	58%	8%	0%	◎	C改善
		7 朝自習や朝読書等の充実が図られたか。	50%	50%			42%	58%	0%	0%		
		8 学習規律や学習習慣についての指導ができたか。	43%	36%	21%		50%	50%	0%	0%		▲
		9 家庭学習・家庭読書についての指導ができたか。	39%	61%			42%	58%	0%	0%		
		10 外国語活動の充実が図られたか。	36%	55%		9%	25%	75%	0%	0%		▲
		11 道徳の授業の充実が図られたか。	25%	75%			33%	67%	0%	0%		
		12 体力向上に向けた取組(スポチャレや業間の取組を含む)ができたか。	54%	39%	7%		17%	75%	8%	0%	◎	▲
		13 読書活動を推進し、読書量増加につなげることができたか。	58%	42%			50%	50%	0%	0%		
		14 一人一台タブレット端末を活用した授業(指導)ができたか。	54%	46%			58%	33%	8%	0%		C改善
1・2	(3)生徒指導の 充実	15 生活目標に対して、具体的取組ができたか。	46%	54%			58%	42%	0%	0%	△	
		16 特別支援教育で、児童生徒のニーズに応じた支援が図られたか。	36%	64%			33%	67%	0%	0%		
		17 挨拶、ことば遣いについて指導できたか。	29%	71%			67%	33%	0%	0%	▲	
		18 清掃指導ができたか。	14%	86%			58%	42%	0%	0%	▲	
		19 食育を行い給食指導ができたか。	23%	77%			58%	42%	0%	0%	▲	
		20 「いじめ」について、予防・把握・指導ができたか。	36%	64%			50%	50%	0%	0%	▲	
		21 「不登校」について、予防・把握・指導ができたか。	43%	57%			67%	33%	0%	0%	△	
22 児童理解について、共通理解が図られているか。	79%	21%			83%	17%	0%	0%				
4	(4)家庭地域との 協働	23 家庭・地域への情報発信(新聞、学級だより、保健・給食だより、ホームページの更新)が行われているか。	64%	36%			75%	25%	0%	0%	△	
		24 教職員は、地域の行事等に積極的に参加し、地域からの意見を取り入れようと(受信)しているか。	42%	29%	29%		33%	58%	8%	0%		▲
		25 児童・生徒の学校行事、地域等への参加を家庭・地域に呼びかけているか。また、児童生徒は参加しているか。	67%	33%			50%	42%	8%	0%	◎	C改善
3	(5)その他 (職員の服務態度)	26 教職員は、互いに協力しながら児童の指導をしているか。	100%				92%	8%	0%	0%		
		27 教職員は、服装、髪等児童生徒の模範となっているか。	79%	21%			83%	17%	0%	0%		
		28 教職員は、危機管理に対する意識を持ち、有事に直ちに対応しているか。	64%	36%			75%	25%	0%	0%	△	
		29 教職員は、働き方を意識し、業務の効率化に取り組んでいる。	43%	50%	7%		25%	75%	0%	0%	◎	▲

A評価が4割程度を超えた項目	19	20
C・D評価があった項目	6	4

○昨年度1学期より10%アップ ◎昨年度1学期より10%アップし、4割越
△昨年度1学期より10%ダウン ▲昨年度1学期より10%ダウンし、4割なし

結果と考察

- ・A評価において、◎や○になった項目が29項目中6項目あった。
- ・CやD評価において、改善が見られた項目が4項目あった。
- ・C評価において、▲や△になった項目が6項目あった。

年度開始の1学期として「計画的な研修」「児童理解」「教職員間の協力」「児童の模範」においてA評価の割合が高いことは評価できる。
しかし、生徒指導関係で昨年度を下回る項目が多数あることや学習規律でC評価があることから、生徒指導の充実が必要である。まずは新たなことより既存の取組の「共通理解・共通実践の徹底」および場合によっては取組のスリム化も検討
また、「外国語活動の充実」については低学年でのALTによる授業、「保・小・中の連携」については保育所参観などの実施を検討。